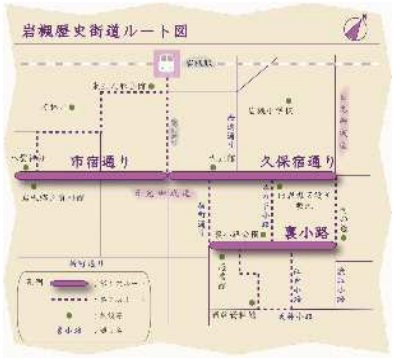
事業シート１				作成：	令和8 年 7 月
取組テーマ	みがく	まちなみづくり		事業区分	継続

事業名	岩槻歴史街道事業	事業期間	～令和７年度	所管	都市局まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所

事業概要：

岩槻の歴史的・文化的資源を活用した地域特性の再構築の一環として、まちの成り立ちなどに意義のある既存道路の歴史的価値を見い出し、まちなかに歴史を訪ね歩くルートを設定します。また、沿道建物や敷地の一部には歴史街道にふさわしいまちなみ景観を誘導し、ルート上の魅力向上を図ります。

図・イメージ



事業目標及び事業方針

・先導的取組路線として位置付けた裏小路において、岩槻藩遷喬館や時の鐘などの地域資源を生かし、歴史街道にふさわしいまちなみ景観を誘導するなど、〝まちなみづくり〟と〝みちづくり〟を住民等と市の協働で推進します。また、次期整備路線の検討と地元組織化を進めます。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	（裏小路） 道路美装化に向けた協議・調整 （次の整備路線） 候補選定方針・方向性の検討	（裏小路） 道路美装化工事着手 （次の整備路線） 候補路線の地元調整	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 候補路線の地元意向確認、路線選定	（裏小路） 道路美装化工事竣工 （次の整備路線） 地元組織化準備	－ （次の整備路線） 地元組織化
取組実績	（裏小路） 道路美装化に向けた協議・調整 （次の整備路線） 候補選定方針・方向性の検討	（裏小路） 道路美装化工事着手 （次の整備路線） 候補路線の地元調整	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 候補路線の地元意向確認、路線選定	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 地元組織化準備	（裏小路） 道路美装化工事実施 （次の整備路線） 地元組織化準備
実績評価	B	B	B	C	C
実績評価の理由	道路美装化に向け、関係部署及び関係事業者と協議・調整を実施しました。また、測量業務を行い、設計作業を進めました。	道路美装化工事として、既存の照明灯具を和風灯具に交換する工事を実施しました。また、次期整備候補路線の地元関係者と意見交換を行いました。	道路美装化工事として、岩槻人形博物館の南側約210mについて舗装の打替え、側溝蓋交換等を実施しました。また、次期整備路線について、地元関係者に意向確認を行いました。	道路美装化工事として、約190mについて舗装の打替え、側溝蓋交換等を実施し、全延長約550mのうち約400mが完了しました。また、次期整備路線について、地元組織化に向けて準備を行いました。	道路美装化工事として、約100mについて舗装の打替え、側溝蓋交換等を実施し、全延長約550mのうち約500mが完了しました。また、次期整備路線について、地元組織化に向けて準備を行いました。

事業シート２				作成：	令和8　年　７月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続

事業名	時の鐘等保存活用	事業期間	～令和７年度	所管	教育委員会生涯学習部 文化財保護課

事業概要：

貴重な文化財・歴史資源を継承し、地域資源として活用できるように時の鐘・岩槻城城門の環境整備を継続して実施します。その際、地域資源の魅力向上を図るため、情報発信の多角化を進めます。

図・イメージ

事業目標及び事業方針

・地域資源の魅力向上のため、環境整備として岩槻城城門の囲い柵を２件整備します。また、5年間で5基の説明板を多言語表記にします。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻城門「黒門」「裏門」の囲い柵の整備 説明板の多言語表記の計画を作成	説明板の多言語表記２基	説明板の多言語表記１基	説明板の多言語表記１基	説明板の多言語表記１基
取組実績	岩槻城門「黒門」「裏門」について森林環境整備基金を財源とし囲い柵を設置しました。また、説明板設置に関わる事業費確保のため、国土交通省の補助制度まちなかウォーカブル事業を利用する計画を立てました。	「時の鐘」の説明板の2基のほか、「岩槻郷土資料館」、「岩槻藩遷喬館」を含めて合計4基の案内板について多言語表記の説明板を設置することが出来ました。	願生寺「阿弥陀三尊図像月待供養板碑」１基の案内板について多言語標記の説明板を設置することができました。	芳林寺「太田氏資宝筐印塔」１基の案内板について多言語標記の説明板を設置することができました。	愛宕神社「岩槻城大構」１基の案内板について多言語標記の説明板を設置することができました。
実績評価	B	A	B	B	B
実績評価の理由	財源の捻出などに関して他の機関との連携を図り、概ね目標を達成できたと評価できます。	案内板の設置について、目標を上回る数値を達成することが出来ました。	案内板の設置について、目標を達成することができたと評価できます。	案内板の設置について、目標を達成することができたと評価できます。	案内板の設置について、目標を達成することができたと評価できます。

事業シート３				作成：	令和8　年　　７ 月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続

事業名	岩槻藩遷喬館保存活用	事業期間	～令和７年度	所管	教育委員会生涯学習部 博物館

事業概要：

埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を後世に伝えるため、適切な保存に努め、また、県内に唯一残る江戸時代の藩校の建物としての歴史を踏まえた事業を行います。

図・イメージ

事業目標及び事業方針

・新型コロナウィルス感染症の拡大や茅葺屋根修繕に伴う臨時休館等により、第２期計画期間の年平均来館者数は5,280人と減少しました。引き続き、第２期計画期間の目標であった年間来館者数7,100人までの拡大を目指します。現地での事業や、地元行事である「まちかど雛めぐり」等での活用における連携のほか、動画やＷＥＢ等の様々なコンテンツを介して、より多くの市民の方々に岩槻藩遷喬館の魅力を伝えます。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：5,900人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：6,200人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：6,500人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：6,800人	・埼玉県指定史跡である岩槻藩遷喬館を適切に保存し、県内唯一現存する藩校としての特性を踏まえた事業を行い、岩槻地域の歴史と文化の発信に努める。 ・目標年間来館者数：7,100人
取組実績	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：6,020人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：7,035人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：8,358人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：9,657人	・岩槻藩遷喬館を適切に保存するため、茅葺屋根燻蒸などを実施しました。 ・歴史と文化の発信のため、「まちかど雛めぐり」期間中の人形の展示などを行いました。 ・年間来館者数：7,021人
実績評価	A	A	A	A	B
実績評価の理由	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。	・年間来館者数は目標の約99%となりました。 ・休日に雨天が多かった点や、酷暑の日が多かった点により、周遊する人が少なかったことが原因として考えられます。 ・今後も岩槻藩遷喬館を適切に保存していくとともに、岩槻地域の歴史と文化を発信する事業の実施に取り組んでいきます。

事業シート４				作成：	令和8　年　７月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続

事業名	岩槻郷土資料館保存活用	事業期間	～令和７年度	所管	教育委員会生涯学習部 博物館

事業概要：

昭和5年に建築された昭和初期の建築様式が残る旧岩槻警察署の建物を保存し、岩槻地域の歴史資料を展示するなど活用に努めます

図・イメージ

事業目標及び事業方針

・新型コロナウィルス感染症の拡大等により、第２期計画期間の年平均来館者数は4,628人と減少しました。引き続き、第２期計画期間の目標であった年間来館者数7,100人までの拡大を目指します。館内の展示、イベントや、地元行事である「まちかど雛めぐり」等での活用における連携のほか、動画やＷＥＢ等の様々なコンテンツを介して、より多くの市民の方々に岩槻郷土資料館の魅力を伝えます。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：5,900人	・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：6,200人	・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：6,500人	・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：6,800人	・保存に必要な維持管理を行うとともに、郷土の歴史・文化を普及啓発するため、当該事業の充実を図る。 ・目標年間来館者数：7,100人
取組実績	・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：3,921人	・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：4,003人	・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：5,682人	・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：8,439人	・岩槻郷土資料館を適切に保存するため、維持管理を行いました。 ・歴史と文化の発信のため、企画展示及び関連講座、講座「さいたまを知ろう」などを行いました。 ・年間来館者数：5,814人
実績評価	C	C	B	A	B
実績評価の理由	・来館者数は目標の66%となりました。 ・近隣民間施設の閉館や体験学習の見合わせなどが原因として考えられます。引き続き、郷土の歴史と文化の発信のため、魅力ある事業を行っていきます。	・来館者数は目標の65%となりました。 ・団体見学や体験学習の見合わせなどが原因として考えられます。引き続き、郷土の歴史と文化の発信のため、魅力ある事業を行っていきます。	・来館者数は目標の約92%となりました。 ・団体見学や体験学習が再開され、平成30年度以前の水準に復していますが、目標値には到達しませんでした。引き続き、魅力ある事業を行っていきます。	・年間来館者数は目標を上回りました。 ・企画展やスタンプラリーが好評で来館者数が増加しました。引き続き岩槻郷土資料館を適切に保存していくとともに、魅力ある事業を行っていきます。	・年間来館者数は目標の約82%となりました。 ・R7年度は企画展・スタンプラリーともに実施したものの、R6年度の水準には及びませんでした。引き続き岩槻郷土資料館を適切に保存していくとともに、魅力ある事業を行っていきます。

事業シート５				作成：	令和8　年　　７ 月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続

事業名	登録有形文化財の活用	事業期間	～令和７年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室 コミュニティ課

事業概要：

国の登録有形文化財に指定され歴史的な価値が高い長谷川家見世蔵（明治）・東玉大正館（大正）・岩槻郷土資料館（昭和）等のPRを行うとともに活用方法を検討します。

図・イメージ

事業目標及び事業方針

・国の登録有形文化財に指定されている長谷川家見世蔵、東玉大正館、岩槻郷土資料館等の活用を行います。活用するためにＰＲを実施します。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻散策マップの配布枚数　8,000枚	岩槻散策マップの配布枚数　8,500枚	岩槻散策マップの配布枚数　9,000枚	岩槻散策マップの配布枚数　9,500枚	岩槻散策マップの配布枚数　10,000枚
取組実績	岩槻散策マップの配布枚数 8,700枚	岩槻散策マップの配布枚数 17,300枚	岩槻散策マップの配布枚数 13,600枚	岩槻散策マップの配布枚数 26,300枚	岩槻散策マップの配布枚数　27,000枚
実績評価	A	A	A	A	A
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言等後に岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルス感染症の行動制限が終わり、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	新型コロナウイルスの感染症法上の分類が引き下げられ、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。

事業シート６				作成：	令和8 年 7 月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続

事業名	人形のまち岩槻流しびな	事業期間	～令和７年度	所管	経済局商工観光部 商業振興課

事業概要：

「人形のまち岩槻流しびな」を実施する岩槻人形協同組合に対し、補助金を交付します。

【人形のまち岩槻流しびな】
概要：ひな人形の原型とも伝わる「さん俵」に子どもたちの無病息災を託して池に流す春の風物行事
開催場所：岩槻城址公園 菖蒲池周辺

【補助金等交付要綱名】
・さいたま市商工業団体等事業補助金交付要綱

図・イメージ

事業目標及び事業方針

・国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」により認定を受けた振興計画に基づき岩槻人形協同組合が実施する事業に対し、補助金を交付します。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対する補助金交付
取組実績	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。	流しびなを含めた振興計画に基づく岩槻人形協同組合の実施事業に対し、補助金を交付しました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。	計画どおり補助金を交付しました。引き続き、国指定の伝統的工芸品である岩槻の人形の認知度向上を図るため、振興計画に基づく岩槻人形組合の実施事業に対し、補助金を交付していきます。

事業シート７				作成：	令和8　年　　７ 月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続

事業名	人形のまち岩槻まちかど雛めぐり	事業期間	～令和７年度	所管	岩槻区区民生活部 コミュニティ課

事業概要：

「人形のまち岩槻まちかど雛めぐり」を実施する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会に対し、補助金を交付します。

【人形のまち岩槻まちかど雛めぐり】
概要：岩槻の中心市街地・商店街を活性化することや、城下町岩槻の観光資源である伝統的工芸品の人形を広く発信することを目的とし、区民が主体となり開催します。

【補助金等交付要綱名】
・まちかど雛めぐり事業補助金交付要綱

図・イメージ

事業目標及び事業方針

・新たな関連イベントを取り入れる等、イベントの魅力を高め、来場者の満足度向上を目指します。
・区民が中心となって事業を進め、区は補助金交付等の支援をするなど、協働のまちづくりを推進していきます。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付	岩槻の観光資源を発信する人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員会の実施事業に対する補助金交付
取組実績	令和4年2月19日～3月6日に開催した「第19回人形のまち岩槻　まちかど雛めぐり」は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部イベントが中止となりましたが、約10,000人の来場がありました。	令和5年2月23日～3月12日に開催した「第20回人形のまち岩槻　まちかど雛めぐり」は岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や人形・つるし雛大展示会など様々なイベントを行い、約20,000人の来場がありました。	令和6年2月23日～3月10日に開催した「第21回人形のまち岩槻　まちかど雛めぐり」は「観る·創る·食べる」をテーマに岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や製作体験など様々なイベントを行い、約25,000人の来場がありました。	令和7年2月２２日～3月９日に開催した「第２２回人形のまち岩槻　まちかど雛めぐり」は「観る·創る·食べる」をテーマに岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や製作体験など様々なイベントを行い、約23,000人の来場がありました。	令和8年2月２１日～3月8日に開催した「第23回人形のまち岩槻　まちかど雛めぐり」は「観る·創る·食べる」をテーマに岩槻駅東口周辺を中心に地元商家に伝わる人形展示や製作体験など様々なイベントを行い、約23,000人の来場がありました。
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。	城下町・人形のまちという地域資源を活かし、区の内外から来訪者があり、岩槻の人形文化の魅力を感じていただくことができました。

事業シート８				作成：	令和8　年　７月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	継続

事業名	まつりによるにぎわいの創出	事業期間	～令和７年度	所管	岩槻区役所区民生活部 観光経済室

事業概要：

「人形のまち岩槻まつり」や「城下町岩槻鷹狩り行列」等の開催支援やPRを行うことで、歴史と文化のまち岩槻の魅力をPRし、地域のにぎわい創出を図ります。

【補助金等交付要綱名】
・さいたま市観光団体事業補助金交付要綱
・岩槻区城下町岩槻鷹狩り行列事業補助金交付要綱等

図・イメージ

事業目標及び事業方針

・まつりを開催することで、地域のにぎわい創出を行います。事業は実行委員会等が中心となって実施し、区は補助金交付等の支援を行うなど、協働のまちづくりを推進していきます。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	・まつりの来場者数 139,000人	・まつりの来場者数 139,000人	・まつりの来場者数 139,500人	・まつりの来場者数 139,500人	・まつりの来場者数 140,000人
取組実績	・まつりの来場者数 0人	・まつりの来場者数 67,000人	・まつりの来場者数 168,000人	・まつりの来場者数 179,000人	・まつりの来場者数 150,500人
実績評価	-	C	A	A	A
実績評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「人形のまち岩槻まつり」及び「城下町岩槻鷹狩り行列」が開催中止となりました。	「城下町岩槻鷹狩り行列」は前回を超える来場者があったが、「人形のまち岩槻まつり」が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日時変更及び規模縮小を行ったため、目標を下回りました。	新型コロナウイルスの感染症法上の分類が引き下げられ、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS及び中吊り広告等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。	ウェブサイト、SNS及び中吊り広告等による情報発信を推進したことにより、岩槻を訪れる人が増えたため、目標を達成できました。

事業シート９				作成：	令和8 年 7 月
取組テーマ	みがく	地域資源の魅力向上		事業区分	新規

事業名	真福寺貝塚保存活用	事業期間	～令和７年度	所管	教育委員会生涯学習部 文化財保護課

事業概要：

国指定史跡「真福寺貝塚」の価値を損なうことなく将来へ継承するとともに、史跡の活用を図り、地域資源の魅力向上のため、整備を進めていきます。

図・イメージ

出土した土偶

発掘調査

事業目標及び事業方針

・史跡整備に向けて、史跡の価値を明らかするための発掘調査を行い、その後、調査成果である調査報告書刊行のために出土品整理を実施します。また、その調査成果を踏まえ、年度ごとに現地見学会を開催して、最新の発掘成果を報告します。

事業計画（工程表）

	R3	R4	R5	R6	R7
取組内容 目標値	整備のための発掘調査（泥炭層境と泥炭層地点発掘調査）および現地見学会 参加者100人	整備のための発掘調査（仮設設置工事、泥炭層地点発掘調査）および現地見学会 参加者100人	整備のための発掘調査（泥炭層地点発掘調査）および現地見学会 参加者100人	整備のための発掘調査（泥炭層地点発掘調査、出土品整理）および現地見学会 参加者１００人	整備のための発掘調査（泥炭層地点発掘調査、出土品整理）および現地見学会 参加者１００人
取組実績	整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者182人	整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者150人	整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者405人	整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者283人	整備のための発掘調査を予定通り実施するとともに、調査成果を現地見学会にて公開しました。 参加者280人
実績評価	B	B	B	B	B
実績評価の理由	予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。	予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。	予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。	予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。	予定していた目標を概ね達成できたと評価できます。引き続き、整備のための発掘調査を続けながら真福寺貝塚の価値を広く周知する事業を実施していきます。